

海 都 整 第 1 9 1 号
平成20年10月22日

国土交通省道路局長 様

海 田 町 長
(建設部都市整備課)



今後の道路行政についての意見・提案の提出について (回答)

平成20年9月19日日付け国道企第37号で依頼のこのことについては、別紙のとおりです。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

広島県海田町

該当なし

○現状

東広島バイパスについては、平成10年9月に海田ランプ橋が完成し、平成18年3月に海田東インターチェンジから中野インターチェンジまで暫定2車線が供用され、引き続き、残る区間についても整備が進められています。安芸バイパスについても、用地取得、工事が行われるなど、着実な進展をみています。これらバイパスの整備に伴い、県道矢野海田線沿いの地域では市街地の再編や新たな町並みの形成も進んでいます。

また、平成25年度には東広島バイパス中野インターチェンジから瀬野西(仮称)インターチェンジまでの暫定供用が予定されています。

国道2号線については、歩道が狭い区間が多く存在しています。

○課題

海田高架(都市計画道路海田八本松線)及び広島南道路が国道31号線を越える形で整備されていない状態で瀬野西インターチェンジから海田東インターチェンジまでの区間が暫定供用されてしまえば、県道矢野海田線への通過交通の爆発的な流入により、通過交通の生活道路への進入や通過交通と地域交通との輻輳による慢性的な渋滞など、多くの問題が引き起こされることが予想されます。

国道2号線の歩道が狭い区間については歩行者の安全が確保されていないので歩道整備や安全施設の設置等の対策が必要です。

第3次海田町総合基本計画では県道矢野海田線沿いを、海田町の発展に資する都市軸に位置づけ、商業・サービス施設、都市型住宅等を誘致し、JR 海田市駅周辺地区などから市街地の中央を通して、曾田・寺迫地区などにつながる機能的で魅力のある都市空間の形成に努めるとしております。

また、同計画においては人にやさしいまちづくりへの意識の高まりを受け暮らしの安全と安心の確保についても定めており、歩道やコミュニティ道路の整備や道路のバリアフリー化を進めています。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

広島県海田町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし